

大型会津地鶏の能力は維持されている

福島県農業総合センター 畜産研究所 養鶏科

1 部門名

畜産－鶏－育種・選抜

2 担当者名

阿部正彦、沼玲子、橋本武、鈴木庄一

3 要旨

県産ブランド地鶏「会津地鶏」の能力を維持・改良するため、雄系種鶏である大型会津地鶏の能力を調査し、高能力個体の選抜・交配により後代鶏を作出している。

大型会津地鶏は、造成から9世代経過し、施設も移転したことから、基本能力調査を実施し、供給開始時との比較を行った結果、能力は維持されていることが明らかとなった。

- (1) 施設移転による環境変化に伴い、初生雛の体重に差はあったが、育成途中での増体量は第4世代を上回る発育であった（図1）。
- (2) 産肉性は、120日齢の解体調査の結果、雄雌ともに第4世代と同等の結果となった（表1）。
- (3) 飼料要求率は、雄 3.55kg、雌 4.02kg で、第4世代の雄 3.60kg、雌 4.15kg に比べ向上した。

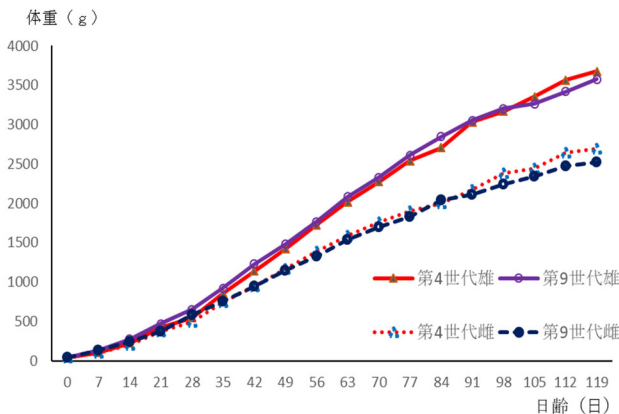


図1 体重の推移 (雄、雌)

表1 解体調査結果

性別	世代	と体重 (g)	もも肉割合 (%)	むね肉割合 (%)	正肉割合 (%) *
雄	9	3315 ± 237.6	22.81 ± 0.78	12.14 ± 0.78	38.11 ± 1.28
	4	3319 ± 95.34	23.01 ± 0.58	12.51 ± 0.54	38.62 ± 1.06
雌	9	2434 ± 101.7	19.20 ± 0.71	14.37 ± 1.35	36.92 ± 2.04
	4	2439 ± 154.6	19.43 ± 0.98	13.87 ± 0.85	36.71 ± 1.63

* 正肉割合：もも肉、むね肉、ささみ合計

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成27～令和2年度
- (2) 研究課題名 県ブランド鶏の改良と開発・実用鶏の基本能力調査

5 主な参考文献・資料

- (1) 佐藤妙子, 「会津地鶏の産肉能力を維持する種鶏更新」, 東北農研センター成果情報, 2015.
- (2) 平成26年度普及に移しうる成果「会津地鶏の産肉能力を維持する種鶏更新」